

武雄市図書館
子ども司書講座新聞 第5号 2013.10.26(土)

1 レファレンスに挑戦!



まず最初に、司書さんからレファレンスについてお話がありました。レファレンスとは、日本語で“調査相談”という意味です。「この本はどこですか?」という本の場所のおたずねから、「昔の武雄の村の名前が知りたい」などの難しいものまでさまざまです。レファレンスは、司書のお仕事のなかでも重要なものの一つです。自分が受けたレファレンスは、最後まで責任をもって取り組まなければなりません。また、武雄市図書館だけでは解決できないレファレンスの場合、他の図書館や、内容に詳しい方に協力をお願いすることもあります。利用者さんのために、誠意をつくして一生懸命取り組む姿勢がとても大切だということを忘れないでください。

レファレンスは、百科事典などのレファレンスツールを使って、索引、目次を頼りに探します。また、見つけた答えが正しいかどうか確かめるために、もう一冊別の本を見て、ウラをとることが大事です!



各班ごとにレファレンスカードを引いて、レファレンスキイズに挑戦! 「ゾウの歯は何本?」「イルカとクジラのちがいは何?」司書さんに教わりながら、カウンターのパソコンを使って、検索検索…。普段図書館をたくさん利用しているみなさんだけあって、本の場所にくわしく、力をあわせて図鑑や事典で調べることができました。答えがわかったら、学んだことをいかし、ほうこくしょを作成!

2 おすすめの本を紹介しよう! ポップ作り



図書館には、今話題の出来事を取りあげた本や、季節の行事にあわせた本を集めて展示した、特設コーナーがあります。アイデアを出しあい、テーマにそったポップを作るのも、司書の大切な仕事の一つです。利用者さんの目にとまり、手にとってもらえるような工夫が必要になります。また、図書館だよりなどで本の紹介をすることもたびたび…。というわけで今回は、おすすめの本を一冊選び、ポップ作りに挑戦しました! 本とにらめっこし、じっくりと書き進める様子から、みなさんの本が大好きな気持ちがじわじわ伝わってきました。利用者さんの目を引くよう、カラフルに仕上げてくださいましたものもたくさん! 一人一人真剣に取り組んでいて、本の内容をきれいにまとめていました。特に、文末がよく書けているものばかりで、思わずその本が読みたくなりました! 大成功!



レファレンスキイズは、時間があればもっとたくさん問題に挑戦してほしいです…。機会があれば、お友達同士で問題を出しあってみるのもいいかもしれませんね! おすすめの本のポップは、みなさんの学校の図書館でもぜひ作ってほしいです!

第7回 予告

次回は、館長さんにご指導いただいて、篆刻(てんこく)に挑戦します。世界に一つの蔵書印作り、いったいどんな作品ができあがるかな??





